

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島威夫

事業名 一般国道166号 田引バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 三重県	
起終点 自：三重県飯南郡飯高町富永 至：三重県飯南郡飯高町田引		延長	5.0 km
事業概要 一般国道166号は、大阪府羽曳野市を起点とし、三重県松阪市に至る実延長約114kmの幹線道路である。田引バイパスは、現道狭隘な屈曲部を改良することにより、見通しの悪い区間、バスのすれ違い困難箇所を解消し、円滑で安全な交通を確保するとともに、地域間交流を強化する道路である。			
H6年度事業化		H-年度都市計画決定 (H-年度変更)	H7年度用地着手 H9年度工事着手
全体事業費		約60億円	事業進捗率 71%
計画交通量		5,500台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 3.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 21/67億円 (事業費：19/62億円) (維持管理費：2/5億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 66/78億円 (走行時間短縮便益：65/82億円) (走行費用減少便益：3/-1億円) (交通事故減少便益：-2/-3億円)
	基準年 平成15年		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保...バス路線の利便性の向上 ・物流効率化の支援...農林水産品の流通の利便性の向上 ・地域ネットワークの構築...現道における大型車のすれ違い困難区間を解消 他5項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 一般国道166号整備促進既成同盟会（構成：松阪市、飯南町、飯高町）が結成されており、事業促進が強く望まれている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成17年1月の新市誕生に向け市町村合併の取り組みが進められている。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成14年度までに延長約1.7kmを部分供用している。平成15年度は0.9kmを部分供用予定である。また、残事業としては櫛田川本川に3架橋。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収に時間を要したが、平成17年度を目処に早期買収を行うこととする。			
施設の構造や工法の変更等 河川の改変を極力抑えた工法に変更を行っている。			
対応方針		事業継続	
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			
<p style="text-align: center;"> 凡例 〰 供用中 ▨ 再評価箇所 ▩ 内供用中 </p>			